

自己評価報告書

平成23年 4月28日現在

機関番号：17501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2012

課題番号：20520086

研究課題名（和文） 近代日本彫刻史についての総合的調査・研究

研究課題名（英文） General research on the history of Japanese modern sculpture

研究代表者

田中 修二（TANAKA SHUJI）

大分大学・教育福祉科学部・准教授

研究者番号：70336246

研究分野：近代日本美術史

科研費の分科・細目：美学・美術史

キーワード：彫刻、近代日本、美術史

1. 研究計画の概要

1850年頃～1950年頃の日本で活躍した彫刻家たちとその作品について、資料収集と調査・研究を進め、多角的な視点から近代日本彫刻史についての全体像を提示する。

江戸時代から明治期にかけて日本の彫刻は衰退期にあり、明治後期のロダンの影響によって「近代彫刻」がようやく成立したとする視点から離れ、江戸時代における立体造形の世界の豊かさに目を向け、その明治期への連続性を確認し、かつ従来の彫刻史ではあまり取りあげられてこなかった作家についても、できるかぎり調査を進めていく。

その成果は国書刊行会から刊行する『近代日本彫刻集成』全3巻にまとめるとともに、研究代表者、研究分担者、研究協力者が個々に執筆する論文等で発表する。

2. 研究の進捗状況

2010年9月には1850年頃～1907年を範囲とした『近代日本彫刻集成』第1巻を刊行し、1907年～1926年を対象とする第2巻についても今年度中の刊行を目指して、現在、図版や資料の収集、執筆などを進めている。1927年～1950年頃についての第3巻も、予備的な調査が進行中である。

そのほか、研究代表者、研究分担者、研究協力者がそれぞれに関心をもったテーマについてさらに深く研究を進め、すでに多くの論文等を発表している。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

『近代日本彫刻集成』第1巻は作成途中で編集方針の変更があり、当初の予定から刊行

が少し遅れたが、その変更によってより多くの彫刻家についての調査・研究ができ、その紹介も可能となった。第2巻、第3巻についてはいまのところほぼ当初の予定通り、作業が進行している。

また、研究代表者ほかこの計画に関わる研究者により、それぞれ近代日本彫刻に関する研究発表がいくつも行なわれている。たとえば研究協力者のうちの1名は、自身の担当する展覧会の企画に本研究による成果を反映させることができた（藤井明、『岡倉天心と日本彫刻会』、小平市平櫛田中彫刻美術館、2010年）。

4. 今後の研究の推進方策

『近代日本彫刻集成』第2～3巻の刊行のため、より研究代表者、研究分担者、研究協力者がより緊密に連絡を取り合い、作業を進めていく。これまでの調査・研究を通して、研究者相互の情報等のやりとりが、当初の予想以上に大きな成果をもたらすことがわかった。今後は、研究の内容についての相互の検討や、調査により判明した新しい情報の交換などをさらに積極的に行なっていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

① 篠原聰、「朴訥な首 文学者の影と像」、『ギャラリー代々木通信』、(7)、1頁、2010年、無

② 篠崎未来、田中修二、「大分市の屋外彫刻メンテナンス活動について」、『アートマネジメント研究』、(10)、80-93頁、2009年、有

③田中修二、「戦前の文献にもとづく作品台帳制作と所在調査（全国調査）」、『屋外彫刻調査保存研究会会報』、(4)、66-76 頁、2008 年、無

〔学会発表〕（計 3 件）

①田中修二、「中平四郎の生きた時代——日本と西洋、彫刻が生まれる場所」、『中平四郎』展連続講演会、2011 年 3 月 6 日、群馬県立館林美術館

②田中修二ほか、「渡辺家に遺る渡辺長男の作品と資料の調査」、屋外彫刻調査保存研究会研究例会、2009 年 5 月 31 日、武蔵野美術大学

③田中修二、「岡本太郎と彫刻」、『岡本太郎立体に挑む』展講演会、2008 年 6 月 7 日、川崎市岡本太郎美術館

〔図書〕（計 5 件）

①田中修二（編著）・大坪潤子・齊藤祐子・迫内祐司・篠崎未来・篠原聡・藤井明・藤曲隆哉・本郷孝衣・本橋浩介・吉田朝子、国書刊行会、『近代日本彫刻集成 第一巻 幕末・明治編』、2010 年、550 頁

②田中修二監修・執筆、ゆまに書房、『銅像写真集 偉人の佛』全 2 冊（シリーズ・近代日本のモニュメント 1）、2009 年、図版篇 361 頁・資料篇 453 頁＋索引 12 頁（論文『偉人の佛』とその時代』資料篇 395-406 頁）

③田中修二（共著）、世界文藝社、『日本藝術の創跡 異文化への扉：創造の交流点（2009 年度版 第 14 巻）』、2009 年、492 頁（論文「近代彫刻における西洋と日本の出会い」252-257 頁）

④田中修二（解説）、ゆまに書房、『近代日本アート・カタログ・コレクション第Ⅱ期彫刻篇 085 東京彫工会 第 1 巻』、2008 年、444 頁（「近代日本彫刻の記憶」435-444 頁）

⑤田中修二（共著、藤井明ほか）、小平市平櫛田中彫刻美術館、『仏像インスピレーション』展覧会図録、2008 年、168 頁（論文「仏像と近代彫刻、日本と西洋」10-16 頁）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

○取得状況（計 0 件）

〔その他〕